

# にこる通信

令和2年5月号

令和2年5月11日発行

目に鮮やかな新緑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より「よつば・にこる」をご利用下さり、まことにありがとうございます。

さて、静岡市では市立及び県立の小中学校において、臨時休業が5月末日まで延長されました(状況によっては休業期間の短縮が検討されるそうですが)。この2ヶ月と少しの間、日常とは異なる生活を送られていると思いますが、「こんなことをしてみたら楽しかった」「こんな変化があった(状況的にも、気持ち的にも)」等ありましたら、また教えていただけたら嬉しいです。

にこるでの変化といえば、たとえば昼食のとり方でしょうか。以前は職員と子ども達が一緒に食べていましたが、3月からは、職員と子ども達が離れて食べるようになりました。このことは、当初考えていたよりも、もっと大きな変化をもたらしました。



まず、今までよりも、子ども同士のコミュニケーションがスムーズになったことが挙げられます。子ども同士での会話がとても増え、昼食時以外でも一緒に遊ぶようになったり、困っていると助けあったりするようになりました。そして、口数の少なかった子、語彙の少なかった子の話す力もかなり向上しました。

それから、自分でできることを自分でできるようになってきているということが挙げられます。にこるのお子さまたちみんな、自分でお弁当をテーブルに用意し、一人で食べ、お片付けをするということが、言われずにできるようになっています。また、食べ終わった後に率先してテーブルを拭いてくれたりします。普段、時間の制約があったりして、大人が手伝ってあげてしまう場面や、代わりにしてあげる場面というのが、どうしても出てきてしまいます。「自分でやるのを待った方がいいのはわかってるけど、そうは言っても、こっちにも都合があるのよ!」という親御さんの気持ちがよくわかります。子どものいるご家庭での「あるある」ですよ。しかし、お子さまには、大人は知らないけれども「実はできること」というのがあるようです。全ての場でできるかどうかはまた別のお話になりますので、ご家庭や学校と、こういう「実はできること」の共有をさせていただきたいです。

ご家庭でのお子さま、学校でのお子さまは、にこるにいる時とは違う面を見せることも重々承知しております。しかし、学校がお休みではあっても、お子さまたちには着実に成長している面があります。不思議なもので、子どもというのは、「ゆったりした時間を過ごすこと」や「遊び」の中で発達する部分が大きいと言われていています。もうしばらく続く臨時休業ではございますが、この休業期間が、必ずしもお子さまにとってマイナスのことばかりではないことが実感としてあります。そう遠くない未来に、「あの時の学校の臨時休業があったからこそ、この子の成長があったんだな」と思える日が来るのではないかと信じております。

そうはいつでも、このような状況ですから、ご家庭ごとに大小さまざまな不安や困りごとがあるとは思いますが、もし、お子さまに関して何か不安に感じていること等ありましたら、にこるまでご相談ください。

放課後等デイサービス

よっば・にこる



〒422-8042

駿河区石田1丁目19-2  
メゾン石田1F

HP <https://kurura.com/>

TEL 054-269-5128

FAX 054-269-5129